

令和6年度 園評価シート 近畿大学九州短期大学附属幼稚園

◆令和6年度園方針・自己の重点目標

1. 学園の建学の精神

「実学教育」と「人格の陶冶」

2. 学園の教育の目的

人に愛される人、信頼される人、尊敬される人を育成することにある

3. 本園の教育目標

愛・信・敬の心を尊重し、社会の変化に即応できる教育

多様な経験を重ね、豊かな人間性と生きぬく力の育成

4. 本園の三大方針

思いやりのある子、がんばる子、たくましい子の育成

5. 本年度の園経営方針

①ひとりひとりの園児を大切にする幼稚園

②子どもたちを中心に保護者と教職員がひとつになる幼稚園

③信頼され、安心できる幼稚園

6. 本年度の重点目標

①園全体で情報共有をし、園児の成長過程を見守る保育を実践する。

②カリキュラムの内容について検討し、見直していく。

・園児がいきいきと活動する園行事の実践。

③近畿大学九州短期大学と連携した附属幼稚園独自の教育を確立していく。

◆項目別評価シート評価基準

評価基準	達成状況	評価基準
5	目標を上回って達成した。	A
4	目標どおりに達成した。	B
3	取り組みを進めたが、目標を達成するには至らなかった。	C
2	取り組んだが、改善の余地を残した。	D
1	ほとんど取り組むことができず、目標も達成できなかった。	E

◆項目別評価シート

I 保育の計画性		達成状況
		まとめ
①園の教育理念や教育方針を理解し、共感している。		4.3
②指導計画は、幼児の興味や関心、生活経験などを考慮し作成している。		4.1
③行事計画は、幼児が楽しく参加し豊富な経験ができるよう考慮し実施している。		4.5
④指導計画に基づいて幼児が主体的に関われるような、安全で清潔感のある環境構成をしている。		3.9
⑤幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている。		4.1
⑥人間関係力を育成するために必要な保育環境作りを計画的に行っている。		3.9
⑦評価・反省に基づき、次の保育と計画に生かせるように行っている。		4
●「保育の計画性」について、評価と課題		
・一人一人の個性や発達状態を見て、子どもたちが喜んで取り組めるように現状に合った保育や行事計画を立てた。 また、教師間での情報共有を速やかに行うことで、園全体で子ども達を見守ってきた。 ・行事の時期は時間に余裕がない事が多く感じた。		
II 保育のあり方、幼児への対応		到達状況
		まとめ
①登園時は視診を大切にし、幼児の体調や様子を観察している。		4.3
②体調が悪そうなとき、怪我をしたときなど適切な処置を行い、家庭へ連絡している。		4.2
③幼児の思いやサインを推察し、基本的欲求が十分満たされる様配慮している。		4
④個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解している。		4.3
⑤幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心がけている。		4
⑥”ひとり一人”と”みんな”的関係を常に考え、クラス集団をまとめている。		3.9
⑦幼児の自尊感情を育てるよう、言葉かけや対応をしている。		4.1
●「保育のあり方、幼児への対応」について、評価と課題		
・毎日視診をし、子ども達の話をよく聞き、一人一人を理解しようと意識しながら関わってきた。また、日々の保育の中で子どもの成長やできたことなどを教師同士で共有することで、一人一人の理解に繋がることができた。 ・研究発表に向け、気になる子にあった声掛けや保育を考慮していきクラス全体としての保育のあり方を園全体で研究していった。		
III 保育者としての資質や能力・良識・適正		到達状況
		まとめ
①保育に携わるものとして、専門知識や技術を身に附けている。		4
②保護者と信頼関係をつくることに努めている。		4.3
③幼児と保護者との対応には公平さを欠かさないようにしている。		4
④あいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちなどを言葉に表している。		4.2
⑤他の人の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる。		4.3
⑥必要な事柄は園長・園長補佐及び主任に報告、連絡、相談をしている。		4.3
⑦園務分掌による仕事を理解し、責任を持って実行している。		4.1
●「保育者としての資質や能力・良識・適正」について、評価と課題		
・保育経験の年数に関係なく素直な意見交換を実施する中で、近畿大学九州短期大学保育科の講師による専門的な知識を拝聴し、保育の質向上に務める。		

IV 情報の発信と受信	到達状況
	まとめ
①ひとり一人の幼児について、家庭の様子や養育方針などを把握している。	4
②園だよりや動画配信及びインスタグラムなどで、保育の内容や意図、クラスの様子を分かりやすく伝えている。	4.2
③個々の幼児の様子は、直接保護者と話をしたり電話をしたりして伝えている。	4
④保護者からの要望や意見などは、園長・園長補佐及び主任などに報告や相談をしている。	4.2

● 「情報の発信と受診」について、評価と課題

- ・動画配信やインスタグラムなどを利用して、保護者が安心して子ども達を預けられるように園の様子を保護者に分かりやすく伝える。
- ・保護者へのお知らせ等はメールを活用しながら、速やかに連絡出来るようにしていく。

V 研修・研究への意欲・態度	到達状況
	まとめ
①研修会や研究会には自己課題を持って参加し、自分なりの考えをまとめている。	4.5
②自分の保育については自己課題を持って計画と反省を行っている。	4.1
③お互いの保育について検討し、評価・反省を加え、自らの保育につなげている。	4
④近畿大学九州短期大学保育科の実習園として、実習生の受け入れや養成に努めている。	4.2
⑤幼児や教育・保育・社会情勢などの情報を日頃から得ようとしている。	4
⑥近畿大学学園の一員としての自覚を持って行動している。	4
⑦保育、その他の場面に於いても積極的に園児募集にかかわっている。	3.8

● 「研修・研究への意欲・態度」について、評価と課題

- ・今年度、発表した研究を更に深めていくために、近畿大学九州短期大学保育科の教員と園内研修を継続していく。
- ・園内研修の中で、様々な課題を協議しながら研究を進めていった。